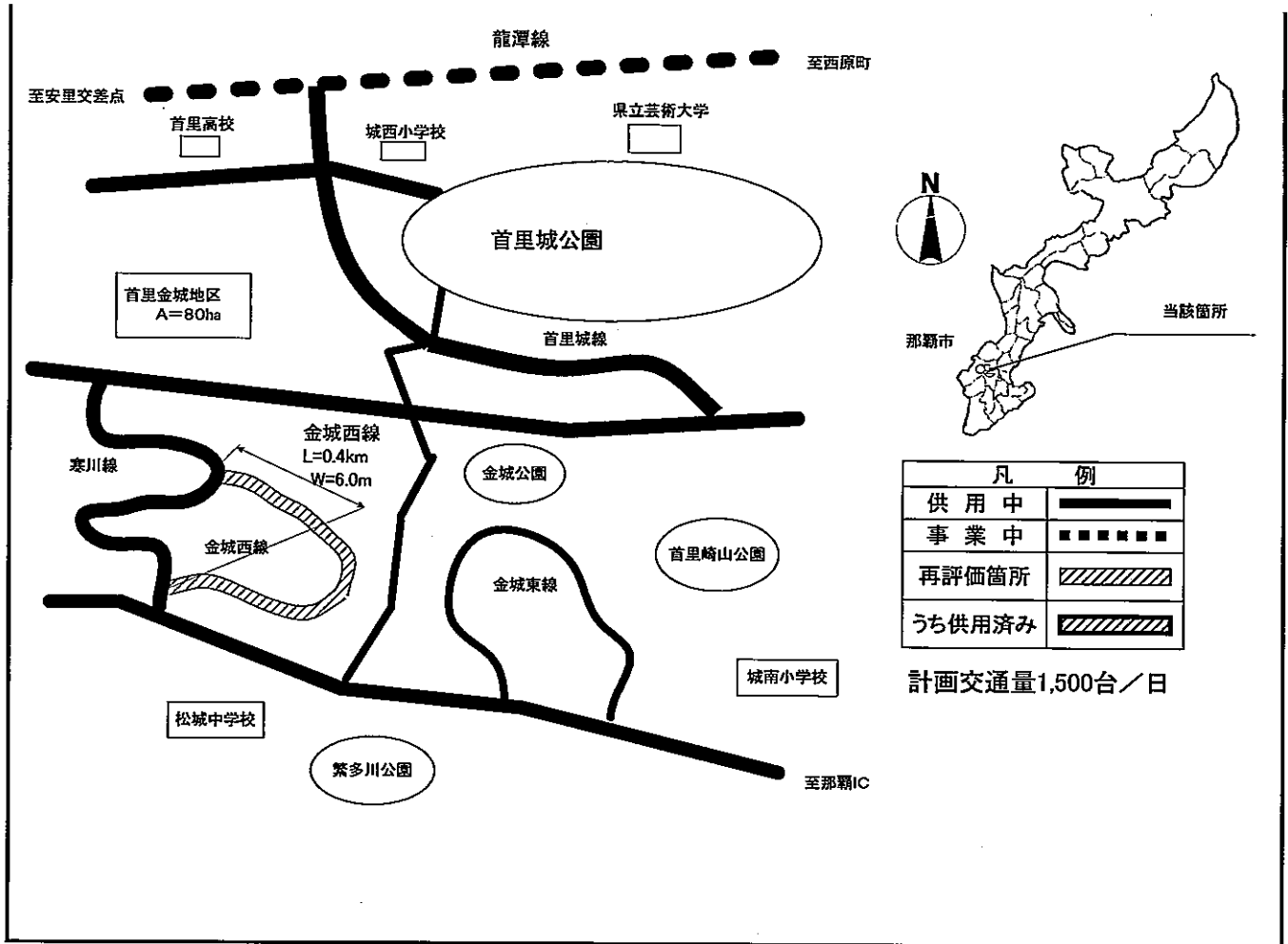


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：沖縄総合事務局建設行政課

担当課長名：村山 継

事業名：首里金城地区 金城西線	事業区分：街路	事業主体：沖縄県那覇市
起終点：自 沖縄県那覇市首里金城町2丁目 至 沖縄県那覇市首里寒川町1丁目		延長：0.4 km
事業概要：金城西線は、身近なまちづくり支援街路事業の歴史的環境整備地区内にあって、首里城を中心とする歴史的景観に調和した整備を行っている。また、首里金城地区は、県指定重要文化財の首里金城町石畳道（都市計画道路真玉道線）を挟んで住宅の密集した地域であり、防災の面からも街路事業の整備を行うことで生活基盤の向上が図られると併に個性ある地域の形成を図るものである。		
H6年度事業化	H5年度都市計画決定	H7年度用地着手
全体事業費：約19億円		事業進捗率：61%
計画交通量：1,500台/日		供用済延長：0 km
費用便益分析結果	B/C： (事業全体) 1.3 (機轉) 3.6 総費用：(機轉)/ (事業全体) 7/19億円 (事業費：7/19億円 維持管理費：0/0億円)	総便益：(機轉)/ (事業全体) 25/25億円 (走行時間短縮便益：0/0億円 走行費用減少便益：0/0億円 交通事故減少便益：0/0億円 歩行者の利便性：25/25億円)
基準年：平成15年		
事業の効果等		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 個性ある地域の形成（主要な観光地へアクセス向上が期待される。） ・ 個性ある地域の形成（歴史的景観を活かした整備である。） 		
関係する地方公共団体等の意見		
歴史的風土の保全と生活基盤の整備を期待している。首里金城町自治会より早期整備に関する要請書が提出されている。（平成14年12月3日、平成15年11月25日）		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等		
歴史核である首里城公園を背後に持ち、観光客は年々増加の傾向にある。		
事業の進捗状況、残事業の内容等		
これまで（平成15年度）に事業費ベースで61%の進捗で、用地取得率も82%まで達している。未買収用地は残り6筆（約676㎡）で、その箇所の用地取得と街路工事が残事業となる。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等		
一部において用地補償交渉が難航したため、事業進捗の遅れとなった。未買収用地については、引き続き任意交渉を進めていくとともに、土地収用の手続きも併せて進めることにより、早期の用地取得を図る。		
施設の構造や工法の変更等		
特になし。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	用地買収も残りわずかであることから、現計画の推進が効率的である。	
事業概要図		



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。